



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

来年度予算案



防災や福祉、子育て支援で前進 住民運動と議会論戦で実現

品川区の来年度予算案が発

表され、その中には防災や福祉、子育て支援など住民運動と議会で取上げてきた要望がいくつも盛り込まれました。主なものをお知らせします。

防災対策

- 携帯トイレを1人20個、全40万区民に無償配布
- マンションエレベーターに設置する防災チェア無償配布
- 木造住宅の耐震診断費用が半額から全額助成に
- 木造住宅の感震ブレイカー（一括遮断型II分電盤型とアース付きコンセント型）補助対象地域を区内全域に拡大

高齢者・障害者福祉

- 高齢者補聴器購入費助成の所得制限撤廃

接種代2500円が無料に。

● 高齢者・障害者の緊急（救急代理）通報システム利用料が無料に。人工呼吸器使用者を対象拡大

● 障害児の補装具・日常生活用具（紙おむつ、入浴補助用具、自家発電装置）等の所得制限撤廃

● 介護・障害福祉職員へ住居支援手当月1万円を支給（勤務5年以内2万円、6年目以降1万円の都の助成に上乘せ）

子育て支援

- 区立小中学校の学用品を全額無償化（書道用具や絵の具、ドリルなどの副読本等）
- 小児インフルエンザ任意予防接種1回あたり1000円補助の対象を生後6か月から高校3年生相当まで拡大（これまででは中学3年生まで）

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、38歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

予算案に関連してこの間の取り組みの一部を紹介します。

補聴器購入費助成：10回の請願運動で実現。さらに所得制限撤廃

共産党区議団が2019年6月一般質問で取り上げた事から始まり、請願運動は合計10回。区は「制度をつくる考えはない」との答弁を繰り返したが、世論に押され昨年7月に制度が実現。対象は住民税非課税、助成額3万5000円。

昨年9月と11月議会に所得制限撤廃を求める請願を年金者組合など9団体が提出。自民・公明などは全て反対して否決しました（下表）が、今回所得制限の撤廃が実現。さらに助成額増額へ、一緒に声を上げましょう。

「補聴器購入費助成の所得制限撤廃を」（12/7）請願の各議員の態度

会派 (人数)	自民 (9)	公明 (7)	未来 (6)	共産 (5)	品改 (3)	維新 (2)	無所属 (8)		
							れいわ	参政	他(6)
態度	×	×	×	○	×	×	○	○	×

※未来：しながわ未来（無所属・立憲・ネット）、品改：品川改革連合（無所属・都ファ）

高齢者インフルエンザ予防接種 自己負担2500円→無料に

共産党は2015年から議会で何度も高齢者のインフルエンザ予防接種の無料化を求めてきました。

2020年度と2022年度はコロナの影響で東京都の補助金があり無料に。無料の年は接種率が10%超上がり、6割を超えています。

共産党は、昨年11月議会で「大田、目黒、港、渋谷など近隣区はすべて無料化している。高齢者の命・健康を守るために無料化を」と求めました。来年度予算に盛り込まれ声を上げれば変えられることを示しました。



▲2/12（月・祝）、区政懇談会を実施し、会場いっぱいの参加となりました。「基本的人権を無視する再開発は止めてほしい」「CO2削減するためにも再開発問題を追及してほしい」「放課後等デイサービスの職員給料が安い」「教員が足りず、産休代替に副校長が入っている学校がいくつもの」「介護ヘルパーが不足し在宅介護できなくなるのでは」「国は世代間を分断しみんなが（要求実現の）仲間であることを気づかせないようにしている。力を合わせましょう」など様々な質問や意見が出されました。こうした声を活かし、予算議会でも論戦に力を尽くします。

無料
法律相談

3月12日（火） 午後6時30分～8時30分

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから